

# 鳥取県青少年育成アドバイザー 協議会通信

鳥取県青少年育成アドバイザー通信53号

鳥取県青少年育成アドバイザー協議会

発行日 2008. 8. 10

編集 芳村恵子

〒680-0002 鳥取市浜坂東1-10-15

## 「全国研究集会の思い出」

清水 成眞

今年に入り、山本会長より、「全国研究集会を鳥取県で開催して欲しいという要望がある」と言う話を聞いた時に「なんと無茶な(笑)」と言う印象を受けたのを思い出します。

全国大会という規模が、1000名以上の感覚で考えていた私は、「とってもじゃないが、鳥取県青少年育成アドバイザー協議会の人数からして、出来ないだろう。」という気持ちでした。しかし、会長の熱意と、会員の「やろう」という気迫が、この大会が成功した事であろうと思います。

会長から、何度も相談のメールを頂きました。会長の心配事や相談にはなるべく早く、返事をしていく事が私のつとめであると考えていましたのでなるべく早く返答をするように心がけていました。役には立たなかったと思いますが……。当日までの、準備など事務局長の新川先生・菊澤事務局補佐には本当にお世話になりました。特に、会長が「誰か、中心の事務局をやっていただけないか。」という相談をされた時に、「じゃあ、私やりましょうか。」とすぐに立候補された意気込みは素晴らしいと感じました。拍手。拍手。

たぶん、それからが大変だったと思います……。

当日は、全員同じTシャツに着替えて、お客様に喜んでいただくよう一生懸命に接待をさせていただいたように思います。終わってからの、皆さんの顔が見れなかったのが残念でしたが、おそらく全員いい顔をされていたと思います。カメラが無くなるというハプニングがありました……。何気なく出てきました。(笑)

本当にお疲れさまでした。そしてありがとうございました。鳥取県青少年育成アドバイザー協議会、バンザイ。



## 「雑感」

東 邦子

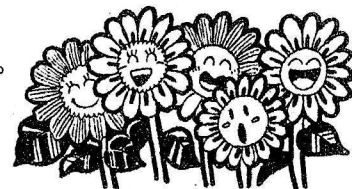
「あー、やっと終わったー」

安心感と充実感と空虚感の入り混じった複雑な気持ちで、6月22日のお昼を迎えました。

山本会長の「全国大会開催の要請があったが……」という第一報をお聞きして、まさか受けられないでしょう……とっていました。淡い期待も外れ、この鳥取で全国大会を受けるとの事が、その時はまだ実感として、どれだけ大変な事なのか分かりませんでした。

実行委員会を重ねるうちに、やっぱりこれは性根を入れて取り組まないといけないのだと思うようになっていきました。横に長い鳥取県で、アドバイザーの方々の連携を取ることもままならない実情です。開催地の中部の方々のご苦労は大変だったと思います。

ありがとうございました。



開催県ゆえに、残念だったことがあります。基調講演や分科会での講師の先生方の素晴らしいお話が、まともに聞けなかった事です。

今後の希望としては、全国のアドバイザーの方々の日頃の活動等について、ディスカッションする場が欲しかったと思いました。

ナイトセッションや交流会での全国の方々との束の間の触れ合いが、大変心に残りました。

上村文三先生に、私の恥ずかしい様な「華」を誉めていただいた事が、私にとってはというより、「華」を愛する人にとっては大変嬉しいことでした。正直、納得のゆく出来ばえではありませんでしたが……。

大きな事をやり遂げたという満足感は薄れつつも、今も持っています。このことが、鳥取県の青少年の為に少しでも活かして行けたら幸いです。

## ☆ お礼の言葉を頂きました ☆

<仮屋茂全国会長様より>

いろいろ お世話になり 有難うございました。皆さんのお陰で 大成功でした。まさしく、楽しんで出掛け、喜んで帰ることが出来ました。参加者が等しく満足して、三朝町を後にしたと思います。

全国の仲間が、不安や迷いを持って今回の総会、研究集会に参加したと思いますが、総会で明確に元の状態に戻り、鳥取宣言でダメ押しの形で初心に戻って活動が出来る事になりました。

画期的な歴史的な一ページが出来、本当に意義ある大会となりました。

大変な時代ですが プレない理念を持って活動することが大事だと思います。

末次先生の話が聞けて、参加者も貴重な勉強が出来たと思います。

鳥取県の皆さんに、くれぐれもよろしくお伝え下さい。

本当に有難う御座いました。

仮屋 茂



<山本又三全国事務局長様より>

メール、ありがとうございます、

皆様方のチームワークのよさにとても感動いたしました。また県や、町の責任ある立場にあられる方がたも、とても青少年の健全育成に並々ならぬ、熱意が感じられ大変ありがたいと感動もひとしお深く本当に喜びを感じました。

また、研究集会のまとめとか、本部事業の総会の記録をお願いした点など宿題を残した形で恐縮ですがよろしくお願ひします、本当に有難うございました。

私は会長さんがメールを発信しました頃、倉吉を22日の夕、7:20に出発した高速バスで丁度、鳥取駅に付いた頃です。

今朝、23日6:30に東京に着き地下鉄乗り換え2回で、東京の一番東のはずれ、江戸川の自宅に付いたのは8時半です。3

日間留守したため pc に沢山溜まったメールの中から会長さんのメール見つけて早速お礼の返信です。今日は午後から江戸川のなかでも更に東のはずれ、橋を渡ると千葉県の市川市になるというぎりぎりの、境界線の町で、学校評議員の研修があります。

これに参加するのでちょっと一眠りいたします。

本当に有難う御座いました、たくさんの喜びを持って帰れました、

アドバイザー東京会、会長 (全国事務局長)

山本又三

<玉置三千行中四国会長様より>

全国からアドバイザーが三朝へ、大勢きてくださいました。

研究集会は盛会でした。本当に鳥取県の皆様にお礼申し上げます。

鳥取県の参加者を入れて、80~90名ぐらいかと思っていりましたが、参加者が多く、鳥取県からも参加者もあり、盛大に開催することができました。全国の仮屋会長は大変喜んでいました。

本当にご苦労さまでした。内容もよかったです。一日目のゆったりとしたプログラムは、上村先生の基調講演、山本会長の研究集会趣旨説明など、・・・今までに知らなかったことが、私も勉強になりました。

ナイトセッションの企画はよかったですね、各ブロックごとの自己紹介など今までになかったことでないでしょうか。・・・一次、二次、三次会で言い尽くした結果、全体会での発言が無かったように思います。

翌日の分科会では、各分科会とも、各班に分かれて自分の県について説明していただきました。上村先生の提案について、今後、議論を尽くしていきたいと思っております。よい知恵があれば、教えてください。また、全国大会の規約についても、和泉さん・山元さんの考えの規約です。

次ページに続く

手直しが必要ですが、玉置とブロック会長とに隔たりがあります。この件についても、ご意見ください。

本当にお世話になりました、菊澤さま、清水さま、新川さま、井上さま、西浦さま他よろしくお伝えください。成功の影に、鳥取県アドバイザーのご苦勞かあります。

また、行政の県、吉田三朝町長、徳田教育長さまへよろしくお伝え下さい。

ありがとうございました。ゆっくり休んでください。

合掌



玉置

<上村文三国民会議副会長様より>

謹啓

先日の全国アド会はいかにご苦勞があったのでは・・・と拝察いたしますが、有意義で楽しい集いでした。

一人ひとりにお礼を申し上げたい気持ちですが、実行委員会各位に是非よろしくお伝え下さい。

お礼まで。拝具



「全国及び中四国大会を終えて」

芳村恵子

この度の大会の開催県でありながら、事前はほとんどお任せで、会員の皆様には申し訳なかったと思いつつ楽しませて頂きました。

用意された資料が足りないくらい盛況で、特に全国大会の資料に関して、始まってから不満の声を聞きながらばたばたしてしまいました。直接私達の役割ではなかったようですが、事前の準備の

大変さを感じました。

また二日目の分科会では、「地域活動の活性化をめざして」というテーマで話し合いました。

そこで、それぞれの県でのアドバイザーの活動を聞かせていただきましたが、活動の主流になるものが、アドバイザー個人としてと団体としての違いがあることが分かりました。

私たち鳥取県は、「それぞれの自分の職業や日常生活を通して…」が主流になっています。私も、ずっと前に作っていただいたアドバイザーの名刺を差し出しながら、自分のライフワークである性教育に力を注いでいます。

でも、何か「鳥取県青少年育成アドバイザー」が資格としてのみであって、組織として私たちを支えてくれる土台として感じられないのです。

私はもうひとつ「思春期保健相談士」の資格もあり、性教育活動の大きな支えになっています。そして個人の活動を応援してくれるよう多くのセミナーが年中開催され、資格も更新制度になっています。

青少年育成という目的は同じでも、アドバイザーはいろいろな切り口があり、しかも各県ごとの組織がきちんとあるという強みで、団体としての活動がもっと出来るのではないかと思います。

そして、会員皆が協力して地域に向かって活動をすることで、結束をより強くし仲間も増やせるのではないかと感じました。その辺りの話し合いをもっと持ちたかったと残念に思いました。

ところで、大会終了後の雑談の時、上村先生が私の名前を見て、「通信を読んでいたよ。」と言って下さいました。思いもしなかった言葉を掛けて頂き、とても嬉しく、また頑張ろうと通信担当としての決意を新たにしました。

有難うございました。



# 平成19年度第3回研修会

日時 平成20年2月9日

会場 花屋別館

## 「コーチングについて」

講師 (有) 達人ネットワーク  
社長 (経営コンサルタント)  
西川幸一氏

What is your type ?

### A controller (コントローラー)

<中小企業経営者タイプ>



このタイプの人 は行動的で、自分が思った通りに物事を進めることを好みます。過程よりも結果や成果を重視します。リスクを恐れず、目標達成に邁進します。他人から指示されることを何よりも嫌います。

### B promoter (プロモーター)

<促進>



自分のオリジナルなアイデアを大切に、人と活気あることをするのが好むタイプです。自発的で、エネルギーが豊富、好奇心も強く、楽しさこそ人生と思っています。多くの人に好かれます。ただ飽きっぽいところがあり、ひとつのことを達成したり、持続するのが苦手です。

### C supporter (サポーター)

<右腕>



人を援助することを好み、協力関係を大事にするタイプです。周囲の人の気持ちに敏感で気配りに長けています。一般的に人が好きです。自分自身の感情は抑えがちです。また、人から認めてもらいたいという欲求も強いのが特徴。

### D analyzer (アナライザー)

<分析>



行動の前に多くの情報を集め、分析、計画を立てるタイプ。物事を客観的に捉えるのが得意。完全主義なところがあり、ミスを嫌う。問題解決と分析の専門家。人との関わりは慎重で、感情をあまり外側に表さない。

## 感想

- \* 「私は、初めてコーチングというものを学びました。名前は聞いたことがあるのですがあまり興味もなくまた、西川先生のような方が近くにおられることすら知りませんでした。受けてみて何となく、カウンセリングの技法に似ていると感じました。先生もカウンセリングの理論を使っているとおっしゃっていましたので、よくわかりました。また、自分のタイプで、日ごろの人との関わりや考え方がよくわかりました。とっても楽しい2時間でしたので時計を見るのも忘れて、17:00からの会議に遅れてしまいました。楽しい時間をありがとうございました。
- \* 聴き方のいろはを教えていただき、自分と比べてみると、上手な聴き方をしていないことに気がついた。また、2人・3人でのワークショップで、実際にやってみて、ポイントに気づくことができた。そして、参加者の皆さんを少し深く知ることができ、また、次の出会いが楽しみになりました。西川先生、有難うございました。
- \* ワーキングのように、実際に質問する側、される側と体験して、楽しみながら、内容が、おぼろげながら理解できた。特に、自分がどのタイプなのか、アンケート(自己判断で)に答え、その結果を見たとき、ウンそうか!と自分を改めて認識することができた。今後、アドバイスをしていくときに、この手法を使うことができるといいなと思った。
- \* 楽しい時間だったので、あっという間に過ぎてしまいました。コーチングでは、質問に答えると4つのタイプに分かれます。それぞれ違うタイプの人たちが、一堂に会している。そして、またそれが楽しいということが実感できて、とてもよかったですと思います。それぞれが、それぞれの立場で、ぴったりの役割をこなしていました。また、チャンスがあれば、もっと詳しい話を聴きたいと思いました。有難うございました。

- \* 自己分析ができました。会話の楽しさを味わいました。今日の勉強を子どもたちともやってみたいと思います。今日学んだことを身近な人間関係の中で、やりたいと思います。
- \* 自分を振り返る、よい時間でした、聞くことの大切さ、日々反省仕切りでした、この会の参加者が、多様で楽しいわけがわかりました。
- \* 西川先生、有難うございました。テンポのよい指導に、どうなるのか？ ついていける？ 戸惑いながら、あっという間に時間が過ぎてゆきました。このように自分を知ることができ、客観的に見れたこと、聴くことの大切さを再確認できたことなどが、ありがたかったです。どのように、目標に向け壁をクリアしていけるか・・・など展望が開けたような気がします。前向きに生きたいです。
- \* 自分のタイプを確認できたことが面白かった。また、人と話をしたり、指導する場面カウンセラーとしての場面も多い中、ちょっと相手の方と優しく接することができるようになれるのではと感じた。コミュニケーションが楽しくなること、上手になることが、これからもっと楽しく生きられる道だと思います。

## ※ ごみ箱はここよ！！

菊澤 慧昭

久しぶりに、スーパーはくとに乗りました。倉吉発10時52分、京都行。

鳥取駅で5歳くらいの女の子と、3歳くらいの男の子を連れた若いお母さんが乗ってきました。

女の子は、手に駅弁を3個とお茶を持っていました。車内は空いていましたので、座席に座るとまもなく親子3人で楽しそうにお弁当を食べ始めました。

しばらくして、お弁当が済みますと、女の子がお母さん！ごみはここに捨てるんだよ」と座席の

下を指さしました。

「座席の下は、ごみ箱ではないのよ」

「だって！あそこのおじちゃんも、ここに捨てたよ。こっちのおじちゃんも、ここに捨てたよ。あたし見てたんだもの！」

女の子が、あまり大きな声で言ったので、お母さんは周りを気にしながら、

「座席の下は、ごみ箱ではないのヨ。ごみ箱はデッキの所にあるの。お母さん捨ててくるね。周りのおじちゃんは、列車を降りるときにごみ箱へ捨てるのよ。わかったあ。」

私は、心の中で拍手したいような気持ちになりました。若い人たちの中に社会的モラルがなくなったと言われだして久しくなりますが、20代と思われるこの若いお母さんの行動に、うれしく思う人は私だけではないと思います。

そして、このような立派なお母さんに育てられた子どもたちなら、素晴らしい人になれると思いました。

なぜなら、親の温かい愛情と厳しい家庭教育につつまれていると感じたからです。

子どもは親の言うようにはしないが、親のするようにする



編集後記

暑中お見舞い申し上げます。

長い間お休みして申し訳ありませんでした。半年振りに、ようやく53号を発行することが出来ました。

「継続は力なり」と言いますが、一度休むとなかなか軌道に戻すのは大変なことが良く分かりました。年4回の定期発行に早くもどしていきたいと思います。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

[oine.oine.oinechan@fork.ocn.ne.jp](mailto:oine.oine.oinechan@fork.ocn.ne.jp)

(word で入れてください)